

重点:◎指導と評価の一体化

◎ICT等の効果的な活用による「学びの改革」の推進

項目	指導改善の具体的方途
<p>1 指導と評価の一体化</p> <p>(1) 国語を学ぶ楽しさを実感できる授業づくり (言葉による見方・考え方を働かせ、深い学びを実現する授業改善、資質・能力を効果的に育成する言語活動の工夫)</p> <p>(2) 学習指導と学習評価の工夫改善([知識及び技能]と[思考力、判断力、表現力]との関連を明確にした指導と評価の計画、指導と評価の具体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元の重点指導事項(言語能力)が活用される、単元指導後の他教科・他領域の学習や学校行事等の活動を明らかにし、国語科での学習と結び付けた意図的・計画的な指導について広める。 ・ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」それぞれの領域において、「言葉による見方・考え方を働かせる」場面や方法を具体化し、指導計画に位置付けることを伝える。 ・ 重点とする指導事項を指導するのにふさわしい言語活動について共通理解を図る。 ・ 子どもが自己調整しながら粘り強く取り組むための指導と評価を明らかにして指導計画を立て、それを子どもと共有して学習を進めることの重要性を伝える。 ・ [知識及び技能]と[思考力、判断力、表現力等]を関連させた指導方法について周知する。 ・ 指導と評価の計画、指導と評価の具体を周知する。(好事例の収集、事例の紹介等)
<p>2 ICT等の効果的な活用による「学びの改革」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善(個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実) ・ 資質・能力を育成するための効果的な ICT 活用の在り方(学習者用デジタル教科書を含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」それぞれの領域について、国語科指導におけるデジタル教科書、タブレット端末等の ICT 機器の活用を促進するとともに、実践事例の収集・検証を通して、深い学びにつながる有効な活用方法を明らかにして周知する。